



学校だより

日野南小学校ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/hinominami/>

令和5年8月31日

9月号

横浜市立日野南小学校

「受け手」から「行動者」へ

校長 川田 由紀

静かだった校舎に、子ども達の元気な声が戻ってきました。学校が息を吹き返したようです。

今年の夏休みも、連日30度を超す日々でした。まだまだ暑さは続きそうです。熱中症には十分に気を付け、子ども達が、スムーズに学校生活を再開できるよう、声掛けをしていきたいと思います。

夏休みの間に、校舎が見違えたところがあります。1つ目は廊下やトイレです。この暑い中、用務員さんがワックスをかけピカピカです。2つ目は昇降口の扉です。風化によって塗装がはげ危ない状態だったので、業者に頼んで塗り直してもらいました。今まではクリーム色でしたが、学校教育目標「大空の心」にちなんで、水色にしました。3つ目は、子どもたちの机の天板を新しくしました。先生方で古いものをより分け、業者に天板を交換してもらいました。

子ども達の安全・衛生のためにできることを考え、私たち大人は手を尽くしています。大人が気を配ることは当たり前のことですが、子ども達には、それをただ享受するだけでなく、感謝の念と共に、そのよい状態を保とうと努力するなど、自分にできることを考えて行動していけるようになってほしいと思っています。

8月19日、20日には4年ぶりの「富士見夏祭り」が開催されました。地域の方々が楽しめるように、いろいろなブースが並び、大盛況でした。企画、準備された方々は大変なご苦労だったと思います。



その中で、地域と関わり役に立つ活動をしたいと、4年2組が総合の学習の一環で、お祭りの地図を作製・配布、ゴミの分別、各ブースの最後尾の提示など、自分たちでできるお手伝いをしました。やり終えた後、「こんなにたくさんの人がお祭りに関わっているとは知らなかった。」「自分たちは2時間働いただけでもこんなに疲れたのに、他の方達はもっと長い時間働いていてすごい。」「地域の方に褒めてもらってとってもうれしかった。」「地域の方が、お手伝いしてくれてうれしかったよ、と言ってくれたのがうれしかった。」など、たくさんの感想を口にしました。お祭りの楽しさに加え、地域の役に立ったという充実感も得ていたようです。



与えられたものや状況を十分に生かすことは大切です。そして、自分たちも動き出す。そんな「やってみる」を後押ししていきたいと思います。